

# 会 報 <第393号>

次代を築くヒューマン・ネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会



発行日 平成30年 7月 1日

## <目 次>

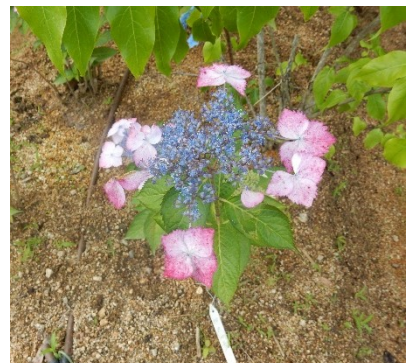
- I 平成30年度見学研修報告
- (1) みずほ協同農園 ……2～5頁
- はじめに 6 エコファームビジョン:目指すべき未来像
- 1 生活協同組合コープこうべ 7 コープ土づくりセンター:概要
- 2 エコファームとは 8 コープ土づくりセンター:課題
- 3 設立 9 みずほ協同農園:概要
- 4 農業を取り巻く諸課題 10 瑞穂大二谷の農地造成
- 5 エコファームの組織 11 農業生産の課題
- (2) キリンピール工場・ピオトープ ……6頁
- (3) 三田建設技能研修センター ……7～8頁
- II 寄稿 神戸秘話第12回『安東聖空の流れを汲む神戸のかな書家たち』  
(一社)兵庫県建築会 会長 瀬戸本 淳 ……9～10頁
- III 花だより : あじさい ……10～11頁
- 摩耶山  
神戸市立森林植物園
- IV お知らせ ……12～14頁
- 会員の異動、研修交流会開催結果、行事案内、事務局だより、  
広報コーナー(住宅再建共済制度)
- 平成30年度姫路市の住宅・建築関係主要施策 ……別冊

## 今月の花だより



神戸市立森林植物園  
: あじさい

(左) 中央園路  
(右) 神戸1号



## I 平成30年度 見学研修会報告

研修施設 : (1) みずほ協同農園 (2) キリンビール神戸工場・ピオトープ  
(3) 三田建設技能研修センター  
研修日 : 平成30年6月14日(木)

平成30年度の見学研修は、11月に県政150周年の協賛事業としての講演会を予定しているため、例年より時期を早めて6月に実施しました。

研修目的・施設は、当会の主要取組事業である環境問題に関するもので、食品廃棄物の循環利用及び自然環境保護の実践活動について視察しました。また、建設事業入職者の減少に伴う後継者づくりが喫緊の課題であることから、入職者等への技能研修を行う研修センターを視察し、今後の事業活動への取り組みに資するよう視察を行いました。

### (1) 『エコファームの取り組みについて』 有限会社みずほ協同農園取締役社長 寺下 晃司氏



#### はじめに

自己紹介ですが、福井生まれで1992年にコープこうべに入社し、地域担当や食品担当をして、1994年から専門の環境セクションに移り、リサイクル、CO2削減、電力事業等を担当し、この土づくりセンター長も兼任し、21年間環境セクションで勤務してきました。

2017年1月に、前任社長の定年により急遽みずほ協同農園に出向してきました。農業はど素人で、未だに四苦八苦しなうやっているとところです。

#### 1 生活協同組合コープこうべ

コープこうべは、兵庫県全域と大阪府の北部等のエリアで事業活動をしている生活協同組合で、1921年に生まれ、間もなく100周年を迎える。

店舗数が多く食品工場なども持ち、「食品残渣」が結構出る事業体である。

#### 2 エコファームとは

○エコファームの仕組み

約20年前にエコファームを立ち上げた。

その仕組みは、図のとおり、店から出る野菜と肉のくずを回収し、堆肥をつくるのが一つの役割になっている。

次に、できた堆肥を「みずほ協同農園」が全量を買取り、野菜を生産し、「コープこうべ」に出荷し、そのくずがまた戻ってくる。

このような、循環の仕組みをコープこうべ単独で行っている。



○タスクフォース (※)

タスクフォースが1994年にできた。

当時の問題意識は、一つには、店舗での食品関係の廃棄物が多いということ。

1990年代の前後から環境問題がいろいろ問題視されていたが、コープこうべでもリサイクルの問題、環境商品とか、様々の環境の取り組みが始まっていた。環境負荷の最大のものが、食品廃棄物であった。大手のスーパーも含めいけいけドンドンのもの売れの時代で、それに比例して食品廃棄物が増えていった。

一方で自給率の低い日本で、これ放っておけないということで、資源循環タスクフォースができ、

店のゴミをどうするのか考えることとなった。

#### ○日本の農業を支える

コープこうべでは、コープ商品というPB商品（プライベート商品）で、様々の商品を、安心安全、低価格で提供との方針で商品開発をしてきた。ただ、農業の分野は、「安全安心で安いもの」と言われても、日本の農業の現状から、それをかなえることはなかなか難かった。

そのようなことから、日本の農業を支えることも含め、組合員と一緒に農業のことを考える場が必要との問題意識から、「エコファーム」をつくった。

### 3 設 立

タスクフォースができた1994年、各種の職場で担当者2名が付き、店から加工くずを集めて、いろいろの形で堆肥をつくり、試行錯誤を重ねていた。

一方、できた堆肥をどうするかの問題があった。やはり農地に堆肥を入れる場合、素性のわからないものは入れたくない。

店から出る加工くずとはいえ、イメージ的にはゴミであり、それからできた堆肥を簡単には受け入れてくれるところも当時はなかった。

一方で、コープこうべ自身が農業をやりたいという思いもあり、自ら農園をつくって、自ら使っていこうということで、何年間か兵庫県の中で場所を探していた。

この三木にあっても、簡単にはいかず土づくりセンターをつくるのに、2年間かけて約60回ぐらい地元の方との協議を経て、1998年1月に農園ができ、その11月に土づくりセンターができスタートした。

### 4 農業取り巻く諸課題

#### ○農業の担い手

農業人口は、2016年で約192万人である。

2000年が400万人、1980年頃が800万人いたので、当時の2分の1、4分の1と、どんどん減ってきている。

この中で、65歳以上は65%である。この方達は、10年後には絶対に75歳になることから、今後に大きい危惧がある。

#### ○耕作放棄地

高齢化により、全国の耕作放棄地は富山県の面積に匹敵すると言われている。

そして、自給率39%が日本の現状あるが、年間1,700万トンの食品ゴミが出ると言われている。

そのうちまだ食べられるものが、推計値で500万～600万トンあり、最近では670万トンという数値

が出ている。

仮に800万トンという数値で言えば、世界7,000万人が1年間食べられる量である。

また、日本の1年間の輸入量の半分に相当し、食品ロスがなくなれば、自給率が上がるという話もある。

さらに、年間850万トンが日本の米の生産量で、それに匹敵する量を一方では捨てている。

このように、農地はあるものの農業の担い手がなく、耕作放棄地が増え、自給率は減っている。でも、日本の野菜が足りないといいながら、これだけのものを捨てているというのが今の日本の縮図である。

このような問題に少しでも貢献するのが、このエコファームだと知っていただければ幸いである。

### 5 エコファームの組織

エコファームの組織は、一つは「コープ土づくりセンター」で、役割は、店舗からの加工くずの回収業務と、堆肥の生産であり、コープこうべが所有し、運営している。

二つに「みずほ協同農園」で、役割は、まずリサイクルされた堆肥を使い、野菜を生産して、コープこうべに出荷する。

### 6 エコファームビジョン：目指すべき未来像

- ①環境や食料に関する知識を学び、実践できる人を育てる学校としての役割を果たす。
- ②食品リサイクル時代の先駆的モデルとしての研究活動と情報発信を進める。
- ③安全・安心な作物生産にこだわりながら、経済的に自立できる農業を目指す。
- ④農業を志す人を支援し、後継者の育成を通して農業振興に貢献する。
- ⑤多くの人々が来援し、体験や交流を楽しむことができる、魅力あふれる場にする。…等

### 7 コープ土づくりセンター：概要

店舗で排出される有機物残渣は、廃棄物処理法上は「ゴミ」である。「事業系一般廃棄物」に相当し、法的には、我々が勝手に回収して、堆肥をつくることができない。

さらに、市域を超えての搬出入は基本的にできないため、関係市と協議の結果、廃棄物処理法上のゴミとして位置づけ、「自己処理」としてコープが行うこととした。

従って、回収や堆肥づくりを専門の業者に委託するとかはできず、全部自前の施設になっている。一般廃棄物の処理施設として兵庫県の認可を受けている。他のスーパーのものは、回収して処理できない。



人員は、センター長は私が兼任し、嘱託職員4名運営している。

## 8 コープ土づくりセンター：課題

### ○堆肥生産

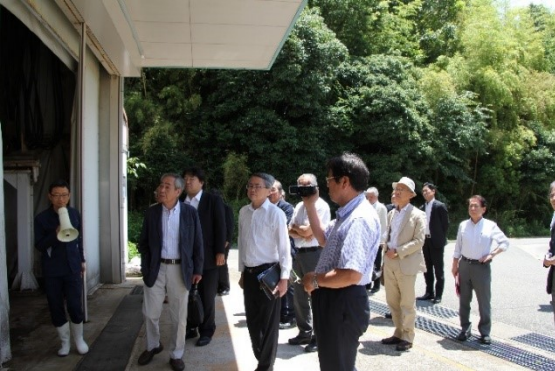
原料は、野菜と肉のくず、副資材として牛糞、もみから、堆肥の一部をもう一度戻して投入する。こういう形で、一次発酵と二次発酵させて、約2カ月かけてつくる。

堆肥成分からは、一般的な土壌改良剤的な堆肥ができています。

環境対策として、臭気問題と汚水対策が日常的な課題である。



発酵槽前で説明



生ごみ投入口



### ○課題

①「施設の老朽化」と②「堆肥生産量の減少」である。

施設は、建設後20年を経て深刻である。

生産の減少理由の一つは、当初堆肥の原料にしていた魚のあらが、においの問題がクリアできず、途中で断念しそれにより回収量が減った。

もう一つは、最近では、食品加工を「センターパック」方式として外部に委託し、店では加工しなくなり、食品ゴミが減少したことにある。

## 9 みずほ協同農園 概要

(1) 20年前の農地法では、一般法人は農業法人に参画できないため、株主は私個人と地元農家であり、コープこうべは資本には加わっていない。今は農地法の改正により、一般法人も株を持てたり、会社自身で農業ができるようになってきている。

(2) 社員は19名。私以外の正社員の5名、パート4名、シルバー9名で運営している。

(3) 事業内容のメインは、野菜の生産販売だが、それ以外に、コープこうべからの受託事業としての農業体験学習事業、体験農園、マイファーム事業がある。

(4) 敷地面積は約20ヘクタールで、農地面積は約12ヘクタールで、全て地元の農家からの借地である。

(5) 正社員は、20歳代が4名、30歳代が1名で、非常に若い。ビジョンにあった「後継者の育成」を実践しているが、未熟故、日々勉強で苦労しながらやっている。

(6) 農地は、ビニールハウス33棟がメインの施設で、出荷用の野菜をつくっている。特徴は、食品リサイクル堆肥を使った土づくりにある。

野菜は、コープこうべのブランド商品「フードプラン」として出荷しており、農薬の使用回数は、通常の栽培基準の半分以下に抑えている。

(7) 主な栽培品目は、ハウスでは、青ねぎ、こまつな、トマト、ほうれん草、きくなで、露地では、大

根、ブロッコリー。

(8) 2016年度の売上高は、83,982千円。  
(うち野菜は64,791千円)

## 10 瑞穂大二谷の農地造成

東播磨地域の水不の解消と農地造成を目的に、東播用水農業水利事業が行われ、この大二谷地区の方が手を挙げ、33ヘクタールの農地ができた。

この農地開拓には、減反政策との関係で、田んぼ以外に畑地もつくる必要があり、それがこのエリアである。

ただ、削った山の腐葉土は田んぼに使い、行き、山を削った畑地は、栄養分がない土地のため、かなり苦労して麦、大豆を作っていたが、結果的には使えない状況になり、耕作放棄地的になった。

そこへ、コープこうべがエコファームを計画し、両者の思いが一致して、ここでしょうということが決まった。耕作放棄地の有効活用という面で貢献ができたと考える。



ビニールハウスのこまつ菜  
奥に見える赤い線は害虫「キスジ」防除対策

## 11 農業生産の課題

課題は次のとおり。

- ①雑草の問題
- ②病害虫の問題
- ③風が強く台風、春一番でハウスのビニールが壊される。

去年は、キスジという虫が大量発生し、アブラナ科の葉を食べるが、こまつながやられ、経営的には大打撃を受けたという形になっている。

エコファームの概要については、一通りご説明させていただきました。ご清聴ありがとうございました。

あと、この時点でご質問受け、見学に回りたいと思います。

Q1：ここでできた堆肥はここで全部消化されるのか。

A：堆肥は今足りなく困っている。

Q2：リサイクル堆肥に肉を入れる意味は

A：元々の発想は、店舗の生ゴミを何とかしたいということ。ただし、弁当、加工品の生ゴミには塩分がありダメ。

生鮮・農産部門での野菜と肉と魚、これはいけるということで始まった。

野菜だけでもいいが、窒素分が欲しいので、そういった意味では肉が入るのはいいかと思う。今、窒素分が1.54%だが、魚のあらを入れた時は2%を超えていた。本音では魚のあらは入れたい。そうすると、結構パンチ力のある堆肥になり、土壌改良剤プラス肥料成分も結構ある堆肥になる。臭気の問題がきつく断念した。

### ※ タスクフォース

緊急性の高い、特定の課題に取り組むために設置される特別チームのこと。ももとは軍事用語で「機動部隊」を意味する。通常は組織内の各部署から適任者を抜擢し、短期集中的に問題解決にあたる。





## (2) キリンビール工場：ビオトープ

場 所：神戸市北区赤松台2-1-1

「野生の動植物の生息する場所」として、今日の土木建築や造園の分野では、計画の中にビオトープを組み入れ、野生の動植物と共生できる環境づくりを行うことが重要なテーマとなっています。キリンビール神戸工場では、この考えに賛同し、周辺の自然環境との調和を守るためのビオトープづくりが推進されているため、その現状を視察しました。

敷地内に設けられたため池（雨水と循環水利用）には、ジュンサイ、スイレン、ガマ、ハナショウブ等の豊かな植生を施し、水生動物では絶滅危惧種の「カワバタモロコ」の育成を行っており、当初の放流200匹が現在4000匹に増加しているとのことです。その他「チョウトンボ」「キイトンボ」などの希少種の生息も見られるようです。

また、研究レポートでは絶滅危惧種の「キヌフラスコモ」「カンテンコケムシ」の生息が確認されたとの報告もあります。

北神のこの地域一帯は、大規模な流通・産業団地、住宅団地の開発により、自然豊かな丘陵地帯が造成され、元々あったため池、池沼、小川の多くは消滅したものとされます。

そのような開発地に立地する工場として、本来は機能性を追求する製造工場ではありますが、ビオトープ計画による自然回帰への試みは大いに評価したいと思います。



ビオトープ中核施設のため池



絶滅危惧種「カワバタモロコ」



池の水の循環施設



### (3) 三田建設技能研修センター

本館：三田市武庫が丘

実習場：三田市香下

講師 専務理事 依藤 庸正氏

本日は三田建設技能研修センターの視察研修にお越しいただきありがとうございます。

本日の研修資料は、「研修センターの概要」、「受講生募集パンフレット」、建設業振興基金のパンフレット『We 1 COME』等によりご説明します。



#### 1 三田建設技能研修センターの概要について

センターは、昭和57年に雇用促進事業団(その後、独立行政法人 雇用・能力開発機構に改称し、平成23年9月末に廃止)が、建設事業主に代わって、型枠工、とび工、鉄筋工及び建設機械運転士等大規模な建設工事に必要な職種(野丁場職種)の建設労働者に職業訓練を行い、技能の向上と雇用の安定を図ることを目的に設置された。

施設の運営は、開設以降、独立行政法人 雇用・能力開発機構から、兵庫県を介して委託を受け「職業訓練法人 近畿建設技能研修協会」が行ってきた。

その後、機構の廃止という国の決定に伴い、機構から建物の譲渡を受けた兵庫県より土地、建物の貸与を受け、引続き国の建設教育訓練維持助成金等の支援のもと、平成23年4月から協会自らの運営として業務を継続している。

建設事業の職業訓練施設は、厚生労働省所管としては結局三田だけで実施している。

他に建設系に特化した施設は、富士教育訓練センターがあり、全国で建設系の技能者・技術者育成を幅広くやっているのは、「東の富士、西の三田」と言われる2カ所だけとなる。

平成23年度以降、職業訓練法人 近畿建設技能研修協会が直接県から土地・建物を借りて運営している。

運営面では、職業訓練法人という近畿建設技能研修協会と、施設管理の三田建設技能研修センタ

ーとの二つの組織からなっている。ただ、職員は私を含め両組織の兼務となっている。

会員は、正会員が594社で、団体会員が8団体(近畿2府4県の建設業協会、県の管工業協同組合及び左官組合)である。

事業主会員は、全て兵庫県内の建設業者で、兵庫県建設業協会(会員約650社)の概ね8~9割方がうちの会員でもある。

#### 2 『We 1 COME!』事業の概要

平成27年度から31年度までの5年間で、毎年1,000人ずつ建設業に新たな入職者を増やそうとする厚労省の事業である。

補助予算は10億円、1人100万円をかけ、無職・無業者を公募して、無料で様々な講習をやり、就職の斡旋までする事業である。

この事業は、建設業振興基金が厚労省から事業受託し、地域毎にこの事業を行うもので、兵庫県では兵庫県建設業協会、豊岡、三田とかに振興基金の職員が駐在し募集をしている。その後、ここで訓練をし、就職の斡旋をしている。

講習内容は、建設技能者ということで、型枠・鳶・鉄筋とかの基本的な技能が多いが、金沢の造園コースなど地域の特徴にあわせて講習を行っている。

三田では、女性限定の重機オペレーターコースや、県の空調衛生工業協会と一緒に空調衛生コースも実施している。

本来は、会社から派遣されて訓練に来るが、この制度では無職・無業者が対象である。

講習のDVDを見ていただくが、初めに受講生の自己紹介をさせ、ヘルメットの着帽の仕方等基本的な安全の作業を学ばせる。

その後、様々な技能講習をし資格をとらせる。整地、クレーン作業、高所作業車、玉掛け技能講習等の作業を全て所定の時間で講習を受けさせ資格をとらせている。

また、基本的に必ず現場に行き、今現在の現場を見せることをしている。生コンのプラントに連れて行き、コンクリートをつくりスランプ値を測らせる。あと1週間ほど置いて、破壊試験をする。

実習場では測量の研修、鉄筋と型枠の合同作業、とびの作業で鋼板組み立て、足場組み立て、そしてT定規を使つての図面作成までやっている。

また、救命講習として消防署で人工呼吸、AEDの使い方を学んでいる。

このように、1回の講習は10名程度でこのときも6名の受講生がそれぞれ建設系の関係のところに就職した。

## おわりに

当施設では、1年間で大体3,500名から4,000名ぐらいの受講生を受入れ、土・日も含めて講習を設定しているため、職員9名で非常に多忙な状況です。

組織的には職業能力に関する業務であり、兵庫県では産業労働部能力開発課所管となります。皆様を含め、当センターのご活用をお願いします。

ご清聴ありがとうございました。  
この後、実習上をご案内します。

## 現地説明



実習場全景



屋内実習場



屋内実習場内部



## 高所作業車実習



## 実習状況

**建設機械を操作するシゴトコース**

取得できる主な資格

- 車両系建設機械運転技能講習 (整地・運搬・積み・掘削)
- 車両系建設機械運転技能講習 (樹林)
- 小型移動式クレーン運転技能講習
- 玉掛け技能講習 など

コース情報は39ページから

重機オペレーター



車両系建設機械運転技能講習 (整地・運搬・積み・掘削、及び掘削用)



**鉄筋コンクリートの構造物を造るシゴトコース**

取得できる主な資格

- 玉掛け技能講習 ● 足場の組立て等特別教育
- 高所作業車運転技能講習
- 小型移動式クレーン運転技能講習 など

コース情報は09ページから

鉄筋・鉄筋・型枠コース etc



技能士コースとび

## 高校生体験学習 (本館掲示板)

高校生 体験講習



II 寄稿 神戸秘話第12回  
『安東聖空の流れを汲む神戸の  
かな書家たち』  
会長 瀬戸本 淳

前回紹介したかな書道のパイオニア、安東聖空は、書家としてはもちろん、教育者としても立派だった。ゆえに数多くの弟子がその益を受けたが、そのそれぞれがまた後進の育成に努めたため、安東を源流にさまざまな系譜へと発展している。

安東の一番弟子とも言える存在が桑田笹船（1900～1989）だ。福山の生まれだが、教員として赴任した神戸で安東と出会い、かな書の美に目覚めて師事。古筆研究家の田中親美の教を請うなど古筆の研究に熱心で、作品の実践のみならず理論にも心を砕き、自らの書学を確立した。やがて教員を退いて書の道へ邁進、戦後は安東とともに日本のかな書道界を牽引し日本芸術院賞など数々の賞を受賞、皇太子妃だった美智子さまの御進講も担った。師と同じく師弟の育成に熱心で、安東とともに後述の正筆会を立ち上げただけでなく、一楽書芸院を設立し書道笹波会へと発展。桑田のもとからは実子の桑田三舟（1927～2010）のほか、深山龍洞 艸舟（1914～1993）など多くの弟子が巣立ち、それぞれがまた流れを生み出した。

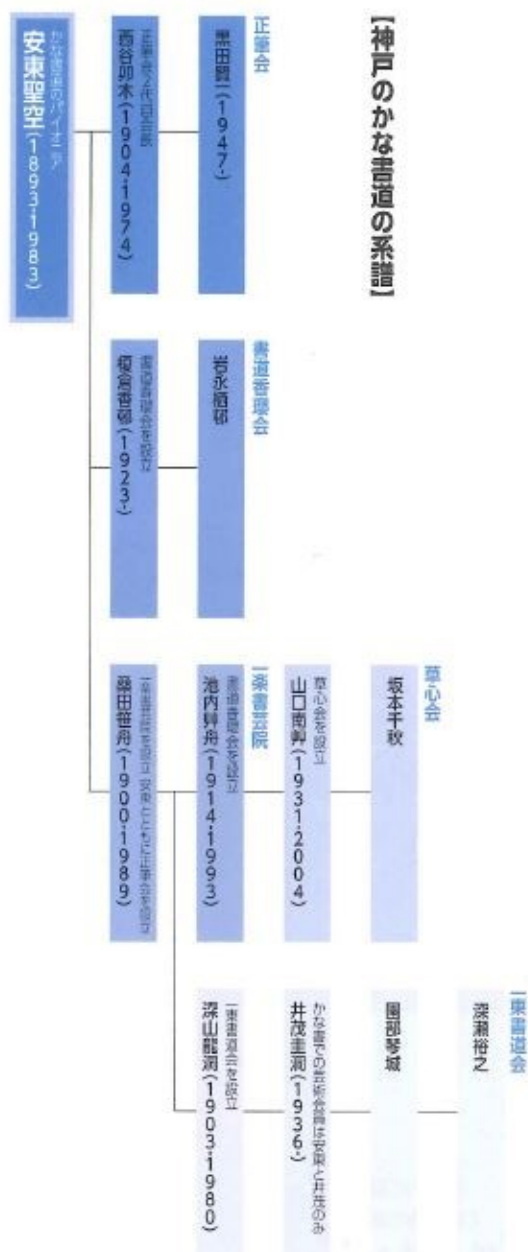
中でも現在勢いを感じるのは、深山龍洞の一東書道会。深山もまた神戸を拠点に活動、かな文字に漢字の力強さを採り入れ、優美さの中に豪放さがある作品を多く手がけた。深山の弟子にして現在の一東書道会の会長で「かな文化」のユネスコ無形文化遺産登録も目指しているのは井茂圭洞（1936～）。その全国的な活躍ぶりはもはや説明の必要があるまい。兵庫県では漢字も含めて、かな書での芸術院の会員は、安東と彼のみだそう。さらに園部琴城、そして私の友人でもある深瀬裕之へと結びつく。

池内艸舟もまた神戸を拠点に書の道を歩み、その薫陶を受けた山口南艸（1931～2004）が草心会を創始した。山口はもともと晋唐の漢字を基盤にしていたが、池内との出会いからかな書に心を寄せ、大字かなの先駆者として活躍した。草心会は師から受け継いだ「艸」＝草から、雑草の如き強い精神力で書の研究という思いで名付けたそうで、現在は理事長の坂本千秋らが活躍している。

さて、正筆会の流れをみると、その会長を安東聖空から受け継いだのは西谷卯木（1904～1978）だ。神戸の生まれで16歳の頃に安東に師事、やがて師と入れ替わるように第一神戸高等女学校の教師となり、戦後もそのまま神戸高校の教壇に立った。ゆえに正筆会に県一や神戸高校関係者が多い。平安時代の名筆研究にとどまらず、本阿弥光悦や良寛など書の世界を広げ、生田の森には石碑がある。正筆会は現在、西谷の愛弟子の黒田賢一が牽引し、大きく発展している。

さらに安東聖空の弟子榎倉香邨（1923～）から岩永栖邨と続く書道香瓊会も、30年以上のすばらしい歴史がある。

以上、神戸のかな書道の流れをざっと紹介したが、門外漢ゆえ不十分なのと、他にも使命に燃えて活動されている書家の先生方をご紹介できな



った事をご容赦願いたい。

感謝と感謝の心で結びついた真の師弟の繋がりが連綿とある中で、神戸の地から安東聖空の発した、まあるい喜びの波紋が、今も大きく無限に広がっている。

※敬称略

※神戸高校同窓誌『鵬友』、筑摩書房『現代書道教室 安東聖空』『現代書道教室 桑田笹舟』、実業之日本社『入門書道全集かな』、神戸市立博物館ホームページ、ふくやま書道美術館ホームページ、兵庫県芸術文化協会ホームページ、一東書道会ホームページ、書道草心会ホームページ、書道香環会ホームページなどを参考にしました。

《月刊神戸っ子2017年10月号から転載》

## 花だより

あじさい : 摩耶山  
(神戸市灘区六甲山町中一里山)  
神戸市立森林植物園  
(神戸市北区山田町上谷上)

今月はなんといってもあじさいですが、取材先が「あじさい園」では妙味がないというので、自生地と言われる摩耶山の奥摩耶ドライブウェイ沿いのあじさいをターゲットに、オテルド摩耶のレストランでの食事としゃれこんでみました。

しかし、異変は、本来咲き誇っているべき道沿いのあじさいは緑一色。まさか遅かったことはなかりと、ホテルで聞くとどうやら今年は花が遅いうえに小粒になっているようで、ホテルの庭も寂しいことこの上なしでした。途中の森林植物園や進入口の六甲山牧場の周辺ではそこそこ咲いていましたから何故摩耶山だけがという感じです。



## オテルド摩耶と中庭

この辺りがかろうじて咲いていました。ここから阪神・大阪の景観がアジサイ越しに眺められるのですが



奥摩耶ドライブウェイ：このカーブ全体があじさい。言わなければ全く分からない状態です。

結局、会報記事にはし難いということで、森林植物園にお世話になることにしました。最初からそうすればよかったのに、とは家内の声でした。

園内、中央園路の両サイドはあじさい一色で、全体的には青色が勝っているように思えます。

ご存知のように、あじさいは土壌によって色が変わると言われます。「酸性の土壌には青い色のあじさいが咲く」のは、酸性の土だと水分にアルミニウムが溶け出しやすいため、そのアルミニウムと色素が結合して青色になると言われています。

中性から弱アルカリ性だとピンクの花になります。写真のピンクのあじさいに対し、対面の斜面は青色一色でした。





六甲山は花崗岩できており、弱酸性の土壌となりますから、やはりあじさいは青色が多いということになるのでしょう。(注：筆者推測)



このあじさい園には、「やまあじさい」を中心に様々な種類のあじさいが鑑賞できます。

これは、あじさい園内にある「アマチャ」で、葉の中に甘味成分を含んでおり、お釈迦さんの誕生日に用いられたり、医薬品の苦みを和らげたり、糖尿病患者の甘味料として用いられたりするようです。(園内解説板より)

アマチャ



ベニガク



森林植物園管理棟の手前にある「北苗畑」がこの期間公開中で、園内に公開されていないたくさんの希少種が鑑賞できます。



神戸1号



ダンスパーティ



クレナイニシキ





## お知らせ

### ◎ 会員の異動 敬称略

㈱森長組 (平成30年6月1日付)

(新) 代表取締役社長 森 宏文

(前) 森 長義 相談役へ

会員登録

(新) 関西支店取締役支店長 杉田 健一

(前) 的崎 伸治 常務取締役へ

### 日光電気工事㈱

会員登録

(新) 代表取締役社長 末岡 靖彦

(前) 代表取締役会長 田部 重雄

### ㈱兵庫確認検査機構

住所変更

(新) 兵庫県姫路市南条426番地2

会員登録(支店分)

(新) 豊岡支店 支店長 中村 孝一

### ◎ 第156回研修交流会開催結果



日 時 平成30年6月28日(木)

会 場 城山ゴルフ倶楽部

成 績 (敬称略)

優 勝 和田 好勝 (明和工務店)

準優勝 瀬尾 真澄 (日光電気工事)

第3位 土田 洋 (建築会事務局)

第4位 瀬戸本 淳 (瀬戸本淳建築研究室)

第5位 柏本 保 (アーキノヴァ設計工房)

梅雨の止み間、前日夜の雨がピタリと止んで薄曇り。暑くもなくの絶好のお天気に恵まれました。

今回は上位常連の大阪ガス・平井氏が地震対応もあり急遽不参加となりました。もうお一人の上位常連の日光電気工事・瀬尾氏はやはりこの日もベスグロでしたが、ハンディの差があり、明和工務店・和田氏が初優勝を飾り、ゴルフ場提供のステーキ肉をお持ち帰り、誠におめでとうございました。瀬戸本会長もグロスでは常に上位に入りますが、ハンディに恵まれず惜敗が続きます。次回は是非お持ち帰りください。

### ◎ 行事案内

#### ○ 第467回月例会

日 時 平成30年7月12日(木)

会 場 神戸三宮東急REIホテル

テーマ 『国家戦略から地域戦略へ  
～全員参加のふるさとづくり～』

講 師 南あわじ市長 守本 憲弘氏

大変多くの方にご参加をいただいています。  
まだ受付できますのでよろしくお願ひします。

#### ○ 第468回月例会

日 時 平成30年9月11日(木)

会 場 西村屋和味旬彩

テーマ 『少子高齢化社会を生き抜くために』

講 師 大阪成蹊短期大学 教授

寅屋 壽廣氏

この度の講演ではご専門の幼児教育、高齢者福祉に加えて、二科展会員の腕前の写真の撮影技術についてもご教示いただき、各自の趣味の範囲を広げていただく機会になればと思います。

7月中旬のご案内予定です。

### ◎ 事務局便り

○大阪北部地震で県内は大きな被害はなかったようですが、今回の地震で見えた問題です。

一つは、通勤時間帯であったこと。電車が止まって、出勤か帰宅か大いに迷うところで、ラジオのパーソナリティ氏はすぐ帰宅を訴えてはいましたが、このことは会社毎に危機管理体制を立て構築していくことになるでしょう。

二点目はブロック塀の脆弱性で、かつ基準法を満たしていないものが多いということ。

40年前の宮城沖地震で基準法の改正に至ったものの、なおある改正前のもや基準法違反のものへの対応がし難いことです。県内の調査で学校や福祉施設でも大量に不適合のものが見つかりました。気象庁の震度基準では震度5強で「ブロック塀が倒れることがある」とされています。

今後の地震発生の可能性から、早急の対策が必要です。

○この度の見学研修では60年前のことを思い出すシーンがありました。

生ごみの投入から攪拌、発酵と見学する中で、一番の課題である臭気を身をもって体験しました。そんな臭いの有る場所で何時も思い出すのが、小学校の修学旅行で食用油の製造工場に行った時、その臭いに皆が鼻を押さえて見学していると、先生から「働いている人のことを考えて行動しなさい」と叱られたことです。

さすが建築会の参加者、鼻を押さえる人は誰もいませんでした。

事務局 : 谷 純夫、石井滝美子

電話 : 078-996-2851

FAX : 078-996-2852

Email : [archit-k@axel.ocn.ne.jp](mailto:archit-k@axel.ocn.ne.jp)



広報コーナー：兵庫県住宅再建共済制度



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 70%
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟！

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害から暮らしを守るために



フェニックス  
センター  
はぴスタ

小さな負担で  
大きな安心！

月換算 500円（2年目～417円）の掛金で、  
最大 600万円の給付

兵庫県が  
実施する

フェニックス共済

- 地震、津波、風水害、豪雪、竜巻などあらゆる自然災害が対象です。
- 他の地震保険や共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。
- 住宅の築年数や構造などに関係なく、定額負担で定額給付です。

（兵庫県住宅再建共済制度）

あわせて備えて、もっと安心！

<b>住宅再建共済制度</b> 年額5,000円で <b>最大600万円給付!</b>	<b>一部損壊特約</b> 年額500円で 補修等に <b>25万円給付!</b>	<b>家財再建共済制度</b> 月額1,500円で 年額1,000円で 最大50万円給付!
---	--	--

フェニックス共済 + 地震保険や他の共済

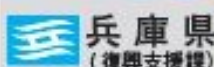
例 地震により住宅が全壊！  
火災保険契約額 1,800万円  
再建資金 1,800万円の場合



【被害の程度と給付金額】被害認定は、住宅の所在する市町が発行する「防災証明書」によります。

住宅の被害認定(割合)	建築・購入した場合	補修した場合	建築・購入、補修しない場合
全壊 (50%以上)	600万円	200万円	10万円
大規模半壊 (40%以上50%未満)		100万円	
半壊 (20%以上40%未満)		50万円	
特約 一部損壊 (10%以上20%未満)	25万円		10万円

お問い合わせ・お申し込みは、ホームページ または コールセンターまで！



公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金  
 コールセンター  
 ☎ 078-362-9400 (平日9:00～17:00)  
 FAX 078-362-4082 フェニックス共済